

## 「市民の社会教育研究所」を始めます

1923（大正12）年の関東大震災から2年後に「財団法人社会教育協会」が設立されました。大半の人が義務教育以上の学びの場を持てなかった時代に「社会での教育」を実現しようと、教育界・経済界の人たちが声を上げ、政府が後押しする形で出発したのです。

それから95年、社会教育協会付属の「市民の社会教育研究所」が活動を開始します。

協会は1942（昭和17）年に研究所を設立しましたが、きびしい状況の下で持続できませんでした。私たちはその経験をふまえ、多くの人たちの協力で進められてきた50年に及ぶ日野社会教育センターの活動実績に誇りを持ち、さらに東日本大震災など災害に立ち向かう人々から学びつつ、新たな研究組織を立てて活動を開始することにしました。

研究所は、まさに「市民の学びと研究の組織」です。自らの足で地域に立ち、「持続可能な社会」のために地球市民として学び合うことが、私たちの基本的なプランです。

新しい市民の研究所へのご参加を、心から呼びかけます。

(公財)社会教育協会 理事長 黒水恒男

### 講師プロフィール

#### 基調講演 長澤 成次 (ながさわ せいじ)

1951年生まれ。千葉大学教育学部・名古屋大学大学院教育学研究科博士課程を経て千葉大学教育学部教授。日本社会教育学会会長、社会教育推進全国協議会委員長、「月刊社会教育」編集長などを歴任。千葉大学名誉教授、放送大学千葉学習センター所長。1984年から91年まで7年間、日野市内に在住していた時期があり、その縁で日野社会教育センターの青年講座、職員研修などの講師を務めている。専門は社会教育論。

#### コメンテーター 新藤 浩伸 (しんどう ひろのぶ)

1978年山梨県生まれ、東京大学准教授、『月刊社会教育』編集長。農村育ちと大学時代音楽活動にのめり込んだ経験から、地域文化とアマチュア文化活動の支援、文化施設と行政の歴史などに関心を持つ。専門は生涯学習論。

### ～パネルディスカッション パネラー紹介～

#### 藤田 博文 (ふじたひろふみ)

1978年生まれ。車椅子ユーザーで、日野市障害者差別解消推進条例策定検討委員会の委員長、日野社会教育センター運営委員などを歴任。障害当事者としてピアの立場から障害者の自立生活をサポートしている。

#### 入手 千尋 (いりてちひろ)

1976年生まれ。20歳より「ひの社会教育センター短期一輪車教室」にスタッフとして関わる。大学卒業後も関わりを継続し2007年より地域のクラブ「いちりんしゃひろばライズ」で初心者指導を行い、現在に至る。

#### 小俣 彰男 (おまたあきお)

1971年生まれ。学生時代に十日町雪まつりと出会い、日野社会教育センターのリーダー仲間と「ひのスノーマン」を結成して雪像づくりに参加。以来30年近く現地の住民との交流を続けている。

#### 宮本 俊子 (みやもととしこ)

1952年生まれ。1974年から2012年まで日野社会教育センター職員として勤務。現在、保育園のお手伝いもしながら、引き続き日野社会教育センターの健康事業にもかかわっている。

### 会場案内

#### Tree HALL

(Tomorrow PLAZA 2階)

※トムスポーツアカデミーの入っている建物（1階は薬局のクリエイトSD）

- ♪ JR 豊田駅北口より徒歩9分
- ♪ JR 豊田駅北口より京王バス4分  
「第二中学校」下車、徒歩1分  
(のりば①⑥のバスが通ります)
- ♪ 駐車場は敷地内のコイン駐車場か、イオンモール多摩平の森駐車場をご利用ください。

